

自由応募型インターンシップ

「自由応募型インターンシップ」は、企業・団体が直接インターンシップ生を募集し、選考受け入れを行うもので学生が直接応募をするものです(原則、大学は窓口にはなりません)。2023年度秋 semester(2024年度春 semesterに成績付与)より、自由応募型インターンシップについて実習時期および時期が条件を満たし、内容についても適切と認められた場合には科目登録を行うことが出来ます。

●スケジュール

実習 5 週間前まで	①科目登録申請・必要書類の提出
実習開始前 (書類選考・実習前の手続き)	②学内書類審査 *学内書類選考を通過した場合 ③事前授業(オンデマンド) ④ビジネスマナー研修(オンデマンド) ⑤保険加入
実習	インターンシップ実習 *実習前の課題・手続き等が適切に完了した場合 *実習前の課題・手続き等が適切に完了していない場合、実習に参加することは可能ですが、科目登録対象とはなりません
インターンシップ 実習終了次 semester	⑥事後授業 ⑦必要書類提出 *実習後の課題・手続き等が適切に完了した場合 ⑧科目登録 ⑨成績発表

①科目登録申請・必要書類の提出

(1)科目登録の条件

自由応募型インターンシップの科目登録申請対象科目は以下の通りです。配当セメスター・必要実習時間・応募要件は科目によって異なりますので注意してください。なお、共通教養科目「インターンシップ」は、自由応募型インターンシップ科目登録申請対象外です。

科目コード	038342	037249	062119												
科目名称	専門インターンシップ	ビジネスインターンシップ	Internship												
科目分野	ST 専門教育科目	APM 専門教育科目	Experiential Learning												
必要な実習時間	2 単位:40 時間 4 単位:130 時間	2 単位:80 時間 4 単位:160 時間	2 単位:80 時間 4 単位:160 時間												
開講言語	<p>日本語もしくは英語</p> <p>開講言語は、インターンシップ派遣先が指定する言語によって異なります。以下の表とインターンシップ受入先の使用言語を確認して自分にあてはまる開講言語を確認してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開講言語 使用言語</th> <th>日本語開講</th> <th>英語開講</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本語</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>その他言語</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※日本語基準国内学生が英語開講のインターンシップ科目を履修した場合、反対言語に集計されます</p> <p>※申請後の開講言語の変更は出来ません</p>		開講言語 使用言語	日本語開講	英語開講	日本語	○	×	英語	×	○	その他言語	×	○	英語
開講言語 使用言語	日本語開講	英語開講													
日本語	○	×													
英語	×	○													
その他言語	×	○													
卒業要件に対する 上限単位数	合計 8 単位まで卒業要件の124単位に含むことができますが、上限を超えて修得した場合には、超過分は要卒集計外の単位としてみなされます		合計 4 単位まで卒業要件の44単位に含むことができますが、上限を超えて修得した場合、超過分は要卒集計外の単位となります												
成績評価	P/F	P/F	P/F												
応募要件	<p>申請時 2 セメスター以上</p> <p>最終セメスターの履修は不可</p> <p>※実習期間が 2 セメスターに跨がる場合、最終セメスターの前セメスターまで申請不可</p> <p>※2017年度カリキュラム APM 学生は申請時 4 セメスター以上</p> <p>※申請セメスター・実習セメスター・実習終了の次セメスターにおいて「通常」在籍であること(休学・停学・留学になる場合には科目登録対象外となり、履修登録されません)</p> <p>※停学中の学生は、申請までに停学期間が終了する場合には申請することが出来ます</p>		<p>1 セメスター学生も申請可能ですが、1 セメスターの成績発表後の GPAが要件を下回った場合、申請が却下されます</p>												

	<ul style="list-style-type: none"> ・ST に所属する学部生 ・通算 GPA2.00 以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・APM に所属する学部生 ・通算 GPA 2.00 以上 ・APM 必修の 12 科目のうち 6 科目を修得済み ・上記 6 科目中「基礎数学」または「上級数学」を修得済み 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営管理研究科に所属する大学院生 ・通算 GPA2.75以上
シラバス	p.8～p.14 に掲載		

(2)応募申請・必要書類

①申請Forms

自由応募型の応募申請は以下のFormsから行います。

<https://forms.office.com/r/zPh2NMQc7S>



申込 Forms QR コード

②必要書類の提出

Formsの申請にあたりアップロードが必要な書類があります。

自身で準備する書類とキャリア・オフィスのページからダウンロードし、企業の受入担当者に記載を依頼する書類があります。実習開始5週間前までに書類が準備出来ない場合は、いかなる理由においても提出は認められません。

a	企業のインターンシップの実施が確認出来るレター・メール ※受入部門・部署・職務内容・期間(実習時間)・指導者名が分かるものをデータで提出
b	インターンシップの参加が確認出来る書類 ※企業からの合格通知書、参加が確認出来るメール等をデータで提出
c	インターンシップ指導者同意書 ※Adobe Signを使用し、企業・学生が署名して提出(企業がAdobe Signのマニュアルが必要であればダウンロードし送付)
d	大学の成績通知書(最新のもの) ※コピー可

(3)科目登録申請時期

科目登録申請は、実習開始の5週間前までに行ってください。なお、申請時点ではインターンシップ実習の参加が確定していることとし、提出書類にてインターンシップ参加が確認出来る書類を提出してください。実習開始の5週間前までに書類が提出出来ない場合、いかなる理由であっても科目登録申請は認められません。

自由応募型インターンシップの申請受付期間は、以下の通りとします。

春開始実習の受付: 2月最終週～7月末

秋開始実習の受付: 8月最終週～1月末

※ただし、2023年秋開始実習の受付は11月中旬以降～1月末とします

(4)実習期間のパターン

協定型インターンシップは、APUの学年暦における休暇期間(8月～9月、2月～3月)に実習が行われますが、自由応募型インターンシップは、必ずしもAPUの学年暦における休暇期間に実施されるものではないため、以下の

4パターンの実習を伴う自由応募型インターンシップの科目登録申請を受け付けます。

1	春セメスターの実習参加
2	秋セメスターの実習参加
3	春セメスター～秋セメスターの実習参加
4	秋セメスター～春セメスターの実習参加

(5)履修登録・成績付与の扱い

1. 自由応募型インターンシップの履修登録・成績付与は、「申請時の実習完了予定セメスターの次セメスター」となります。実習が終了した次セメスターにて科目登録認定に必要な書類の提出、および事後授業への参加、課題の提出を行います。
2. 申請時に実習が2セメスターにまたがる予定として申請をした場合、実習を終えた次セメスターに履修登録されます。学生や企業の事情により、実習が短くなり1セメスターで実習が完了した場合でも、履修登録セメスターを前倒しするという対応は行いません。

例)2023年度秋セメスター～2024年度春セメスターに実習予定で申請した場合

2024年度秋セメスターの履修登録となります。

当初予定と異なり実習が2023年度秋セメスターで完了したとしても、事後授業は前倒しされず、2024年秋セメスターに実施され、同セメスターでの履修登録となります。

2023FA		2024SP	2024FA
2 semester		3 semester	4 semester
参加申請 実習の5週間 以上前	事前授業 事前ガイダンス (オンデマンド)	実習	事後授業、課題提出 必要書類提出 履修登録・成績付与・単位修得

3. 履修登録・成績付与セメスターの提出期限までに科目登録認定に必要な書類を提出しない場合に、成績評価は「F」となります。
4. 本科目の履修登録条件として①申請セメスター、②実習セメスターおよび③実習完了の次セメスター(履修登録セメスター)は在籍状態が「通常」であることが条件となります。①～③のいずれか状態が「休学」「留学」「停学」となる場合には、本科目登録対象外となり履修登録・成績付与は行いません。また、休学・留学明けのセメスターでの履修登録・成績付与対象ともなりません。

(6)授業・実習時間について(インターンシップハンドブックより)

1. 実習時間は出勤から退勤までの拘束時間(昼休憩時間を含む)とします。
2. 最終実習時間数が当初の実習予定時間と異なった場合、以下の取り扱いとします。
例1)「専門インターンシップ」が40時間/「ビジネスインターンシップ」「インターンシップ(大学院科目)」が80時間に満たない場合
→単位授与されません

例2)「専門インターンシップについて当初の予定時間は130時間を超えていたが、実際の実習時間が40-129時間であった場合/「ビジネスインターンシップ」「インターンシップ(大学院科目)」について当初の予定時間は160時間を超えていたが、実際の実習時間が80-159時間であった場合
→2単位の単位授与となります

3. やむを得ない事情により最終実習時間が当初予定の実習時間より少なくなり、最低実習時間を満たさなかった際の対応について:

以下の内、該当する項目に記載の対応をして下さい。科目登録の可否は大学が判断します。

A)受入先の業務命令によって実習が中止、一時中止されたことが理由の場合:

「受入先が発行した説明文書(署名もしくは押印されたものをPDF化したもの)」をメールで提出して下さい

B)病気・忌引きが理由の場合:APUアカデミック・オフィスのHP>授業関連・時間割>授業欠席・遅刻

(https://www.apu.ac.jp/academic/class_info/class_absences/)に記載の申請条件を満たしている場合は、以下の①②をメールで提出して下さい。

①同ページに記載の「必要な公的証明書」をPDF化したもの

②「病欠・忌引きの連絡届」

※②のデータはキャリア・オフィス 自由応募型インターンシップHPに掲載しています

(https://www.apu.ac.jp/careers/internship_guide/independently_arranged/)

C)その他、悪天候・ストライキ・疫病などの流行が理由の場合:

アカデミック・オフィスまでご連絡ください

メール提出先:アカデミック・オフィス インターンシップ担当(atfs@apu.ac.jp)

提出締め切り:欠席した授業・実習の終了後、3営業日まで(※締切後の受付は一切行いません)

4. 事後授業を病気・忌引きで欠席する場合は3-B)と同様の対応をすること

5. 国際学生が日本国内で実習する場合は、各自で資格外活動許可証の範囲内の時間数を確認し、実習を行ってください

6. 授業期間中にインターンシップの実習が行われる場合、実習と学生が履修登録している科目の時間割が重複している場合には授業を優先することとし、授業に対する特別な配慮は認められません。実習と授業との重複がないように企業と調整してください。また、授業期間中に有償のインターンシップに参加する場合、実習時間は週28時間以内となります(長期期間中は週40時間以内)。

(7)科目認定のためのインターンシップ要件

自由応募型インターンシップを科目認定するには以下を満たす必要があります。

1	NOT self-employment 自営業ではない
2	NOT work performed in a student's family-owned or family-managed business 学生の家族経営または同族経営の事業で行われる会社ではない
3	NOT work performed for a student-run organization 学生が運営する団体で行う業務ではない
4	NOT work performed at, or registered to, a private, residential address

	個人の居住地で行われる、または登録されている業務ではない
5	NOT participation in a political campaign, political action committee (PAC) or lobbying effort (however, working for a seated public servant is acceptable) 政治運動、政治活動委員会(PAC)、ロビー活動への参加はない
6	NOT training activities (e.g. time spent preparing for insurance and/or securities license exams) 研修・トレーニング活動(例:保険や証券のライセンス試験の準備に費やす時間)はインターンシップに含まれていない
7	NOT part time job, but official internship アルバイトではなく正式なインターンシップとして活動する業務である

(書類選考・実習前の手続き)

②書類審査

実習開始5週間前までに必要書類を提出した後、学内で書類審査を行います。書類不足・不備の場合、不合格とすることがあります。必ず各自でチェックしましょう。

③事前授業(オンデマンド)

学内の書類審査を通過したら、インターンシップ科目の Moodle に登録されます。Moodle 内に、オンデマンドの事前授業が格納されているため、必ず実習までに確認し、課題が課されている場合には期限までに課題を提出します。

④ビジネスマナー研修

事前授業と同じく、Moodle にビジネスマナー研修が格納されています。必ず実習までに確認し、理解力確認テストを受けてください。

⑤保険加入

科目登録申請をしてインターンシップに参加する場合、必ず大学が指定する保険に加入する必要があります。インターンシップに参加するための重要な手続きになりますので、必ず加入してください。実習までに加入されなかった場合、履修登録・成績付与対象とはなりません。

加入保険の種類

国内インターンシップ	・インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険(略称:インターン賠)
海外インターンシップ	・インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険(略称:インターン賠) ・東京海上日動火災保険株式会社 海外旅行保険 ・危機管理サポート(日本アイラック)

(実習終了次セメスター)

⑥事後授業(対面)

実習終了セメスターの次セメスター中に事後授業が行われます。事後授業は原則として対面で実施されますので全ての事後授業に必ず参加してください。事後授業で課題提出が必要になる場合には、担当教員の指示に従い、期日までに課題を提出してください。

⑦必要書類提出

実習後に必要な提出物は以下になります。期日までに書類が提出されない場合、成績は原則として「F」となります。いかなる理由であっても提出期限後の書類は受け付けません。

a	インターンシップ実習日誌※ →Forms より提出
b	受入担当者報告書 →Adobe Sign を使用して企業・学生が署名し提出

また、必要書類は以下の Forms より提出してください。

<https://forms.office.com/r/8XRNMnWvzx>



事後書類提出 Forms QR コード

⑧科目登録・⑨成績発表

科目登録申請に基づいて、大学が科目登録を行います。

履修登録は、履修登録セメスター(実習終了セメスターの次セメスター)の履修登録修正期間 2 終了後に行われます。成績付与は、他科目と同様に履修登録セメスターの成績発表時(春:9 月上旬、秋:3 月上旬)に発表されます。各自 Campusmate で登録内容を確認してください。

なお、成績は担当教員によって、P/F 評価で行われます。成績評価の詳細はシラバスを参照下さい(次ページ以降)

項目	内容
開講年度	2023, 2024
講義コード	03834201, 03834202
科目ナンバー	[23]-[ST]-[OFC]-2
開講セメスター	2023年度 冬インターンシップ (科目登録・単位授与; 2024年度春セメスター) 2024年度 夏インターンシップ (科目登録・単位授与; 2024年度秋セメスター)
講義名・クラス名	専門インターンシップ 01/02
プログラム名	専門インターンシップ
担当教員	土橋 卓也
実習地	企業による
単位数	40時間以上130時間未満: 2単位 130時間以上: 4単位
備考	この科目は、「学生のキャリア形成支援に係る産学協働の取組み」における4つの類型の内、「タイプ3: 汎用的能力・専門活用型インターンシップ」に相当する。 https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/sangaku2/20220610-mxt_ope01_01.pdf 出典: インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方 (令和4年6月13日一部改正 文部科学省・厚生労働省・経済産業省) ※企業は活動を通じて取得した学生情報を採用活動開始以降に限り活用することが出来る
講義分野	ST専門教育科目
履修の目安	専門インターンシップに参加する学生を対象とした授業です。「専門インターンシップ科目」登録願を提出した学生のみ受講可能です。
授業概要	「働くこと」「生きること」「学ぶこと」について様々な視点から掘り下げ全員で考えていきます。企業勤務の経験を踏まえ、組織で働くとはどのようなものか? 困難やストレスをどのように克服してゆくのかなど、体験に基づき共有します。
到達目標	①大学で学ぶ理論の実社会での活用事例を理解できる。②大学で学ぶ理論を実社会に応用することができる。
授業方法	学生相互で働く意味について議論し、将来のキャリアビジョンなどを深めるグループワーク中心の授業です。(事前授業はオンデマンドによる視聴、事後授業はディスカッション中心の授業)
毎回の授業の概要	[事前授業] 1. 「働くこと」「生きること」「学ぶこと」について考える 2. 仕事を通じて自己の成長をはかろう 3. キャリア形成について 4. インターンシップの目的・企業実習の心構え [事後授業] 1. インターンシップ実習の振り返り・大学生のキャリア形成の課題 2. 企業という組織について理解する 3. 自己吟味の大切さ～自分を理解し進路を明確にする 4. 企業を観察する目を養う～企業を見る5つの視点

	<p>*なお、各回の授業は以下の通り構成されます。<u>日程・教室など詳細については追って、Campus Terminalで案内します。</u></p> <p><事前授業2回（動画視聴による授業：100分×2=200分）・事後授業3回（2日）（対面：100分×3回=300分）></p> <p>1：はじめに（講師より）</p> <p>2：①個人ワーク・グループディスカッション 休憩</p> <p>3：②個人ワーク・グループディスカッション</p> <p>4：ミニレポート提出（事前授業2回・事後授業2回 計4回）</p>
実習スケジュール	<p>（協定型インターンシップ） セッション終了後、次のセメスター開始まで、とします。 *2023年度 冬インターンシップ（科目登録・単位授与；2024年度春セメスター）： 2024年2月14日(水)～3月31日(日)</p> <p>（自由応募型インターンシップ） 授業期間を含む以下の期間を対象とします。 2023年度秋セメスター（～2024年3月31日まで）（科目登録・単位授与；2024年度春セメスター） 2023年度秋セメスター～2024年度春セメスター（2024年9月20日まで）（科目登録・単位授与； 2024年度秋セメスター）</p>
予習・復習の内容と分量	予習の必要はありません。授業の資料を復習し、テーマごとの課題について各自が考え進路選択に生かしてください。
成績評価方法	P/F 評価
	授業への参画：80%（事前授業：40% 事後授業：40%）
	小レポート：20%
	留意事項：事後授業の1回目は2時限連続で1回分の授業内容となっているため、1回の授業に欠席した場合、2時限分の欠席扱いとなります。
多文化協働学修の実践方法	グループディスカッションでは内際学生を半々に行い相互理解を促進する。授業内で行う質問の回答を全員でシェアし内際学生に意見を聴き、受けとめの違いを理解してもらう。
授業担当教員の実務経験	日本航空㈱に35年勤務。東京・大阪支店国際団体販売部、本社宣伝部、国内営業部、北海道旅客鉄道㈱に出向 1997年～2000年 クアラルンプール支店勤務 2010年～2015年
学生への要望事項	インターンシップの成果を出すためには、授業・実習への積極的な取り組みが求められます。意義をよく理解した上での参加をお願いします。
テキスト (授業を履修する上で、購入が必須となる書物) 備考	特になし
テキスト (授業を履修する上で、購入が必須となる書物)	特になし
参考文献備考	特になし
参考文献 (図書、視聴覚資料) ライブラリリザーブコーナーに設置	特になし

参考文献 (雑誌、年鑑白書等)	特になし
備考	
担当教員研究室電話番号	4509
担当教員E-mailアドレス	ts21013c@apu.ac.jp
E-Book および 関連ページ	特になし

項目	内容
開講年度	2023, 2024
講義コード	03724901,03724902
科目ナンバー	<p>【2023年度カリキュラム】</p> <p>・ビジネスインターンシップ [24]-[M]-[COM]-2</p> <p>【2017年度カリキュラム】</p> <p>・ビジネスインターンシップ[17]-[M]-[COM]-3</p>
開講セメスター	2023年度 冬インターンシップ (科目登録・単位授与；2024年度春セメスター) 2024年度 夏インターンシップ (科目登録・単位授与；2024年度秋セメスター)
講義名・クラス名	ビジネスインターンシップ 01/02
プログラム名	ビジネスインターンシップ
担当教員	福山公博
実習地	企業による
単位数	80時間以上160時間未満：2単位 160時間以上：4単位
備考	<p>この科目は、「学生のキャリア形成支援に係る産学協働の取組み」における4つの類型の内、「タイプ3：汎用的能力・専門活用型インターンシップ」に相当する。</p> <p>https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/sangaku2/20220610-mxt_ope01_01.pdf</p> <p>出典：インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方（令和4年6月13日一部改正 文部科学省・厚生労働省・経済産業省）</p> <p>※企業は活動を通じて取得した学生情報を採用活動開始以降に限り活用することが出来る</p>
講義分野	APM専門教育科目
履修の目安	「協定型インターンシップ」「自由応募型インターンシップ」で科目登録するする学生を対象とした授業です。科目登録願を提出し、審査を通過した学生のみ受講可能です。
授業概要	<p>ビジネスインターンシップは、APMの全学生（申請時2-7セメスター）を対象に実施され、実際のビジネスがどのように運営されているかについて知識を得、APM/APUで学んだビジネスやマネジメントの概念や理論を振り返ることができる実践的な場である。</p> <p>また、インターンシップに参加することにより、どのような職業に就きたいか、これから何を学ぶべきかを明確にすることができ、仕事上のネットワークを構築する機会にもなる。</p>
到達目標	<p>ビジネスインターンシップを履修することで、学生は次のような力が身に付きます：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ビジネス環境での実践的な経験を得る。 ②インターンシップ先の業界に関する知識を得る。 ③キャリアの選択肢についての理解を深め、自らのキャリア目標を明確にし、今後の知識・スキル向上のための分野を特定する。 ④ビジネススキルを向上させ、自信を付ける。 ⑤国際経営学部での専門的な学修を深めるよう努力する。 ⑥雇用者から見た人材としての採用可能性を強化し、社会における自らの役割についてより責任を持つ。
授業方法	授業は、事前オンライン講義（録画：インターンの時期に応じて柔軟に視聴可能）、事後成果発表で構成されます。
毎回の授業の概要	<p>*なお、授業は以下の通り構成されます。詳細については追ってMoodle, Campus Terminalで案内します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 科目登録申請を行う。自由応募型インターンシップについては、ここで対象インターンが単位付与に相応しいものか事前に審査をします。協定型インターンシップについては、学内選考および企業による選考があります。審査結果が「不適」となることもあることに留意。 2. 各自、Moodle内の事前オンライン講義を視聴（視聴後の課題有） 3. インターンシップに参加 4. 成果発表会前日17：00 JSTまでに「インターンシップ最終報告書」を提出

	5. 事後授業としての成果発表会に参加。
実習スケジュール	<p>(協定型インターンシップ) セッション終了後、次のセメスター開始まで、とします。 * 2023年度 冬インターンシップ (科目登録・単位授与；2024年度春セメスター) : 2024年2月14日(水)～3月31日(日)</p> <p>(自由応募型インターンシップ) 授業期間を含む以下の期間を対象とします。 2023年度秋セメスター (～2024年3月31日まで) (科目登録・単位授与；2024年度春セメスター) 2023年度秋セメスター～2024年度春セメスター (2024年9月20日まで) (科目登録・単位授与； 2024年度秋セメスター)</p>
予習・復習の内容と分量	ビジネスインターンシップは体験型学習であるため、学生はインターンシップを開始する前に、与えられたタスクについて勉強し、受け入れ先と相談する必要があります。そのため、インターンシップ開始前に少なくとも15～20時間の準備時間が必要となる場合があります。
成績評価方法	1) 事前課題 (10%)、インターンシップ最終報告書(50%)、2) インターンシップ・スーパーバイザーによる評価書(10%)、3) 成果発表会とこの授業への貢献；例：アイデア、考え方、経験の共有、質問、意見(30%)、によって、成績が決定される。成績はP/Fとする。
多文化協働学修の実践方法	学生は、受け入れ先の多文化な環境の中でAPM/APUで学んだビジネスやマネジメントの概念や理論を応用し、実際のビジネスの知識やスキルを学びます。
授業担当教員の実務経験	—
学生への要望事項	インターンシップハンドブックを参考にしてください。
テキスト (授業を履修する上で、購入が必須となる書物) 備考	—
テキスト (授業を履修する上で、購入が必須となる書物)	—
参考文献備考	—
参考文献 (図書、視聴覚資料) ライブラリリザーブコーナーに設置	—
参考文献 (雑誌、年鑑白書等)	—
備考	—
担当教員研究室電話番号	内線番号：4207
担当教員E-mailアドレス	kimihiro@apu.ac.jp
E-Book および 関連ページ	<p>(1) 大学1年からのキャリアデザイン実践 https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/Viewer/Id/3000126513/Page/3?8 ;</p> <p>(2) Grit: The Power of Passion and Perseverance: https://search.ebscohost.com/login.aspx?direct=true&db=nlebk&AN=1966383&site=ehost-live</p> <p>(3) 「外国人留学生のための就活ガイド2024」 https://www.jasso.go.jp/ryugaku/after_study_j/job/guide.html</p>